

国立大学等における

教育・研究現場からの緊急課題

〔施設整備の窮状〕



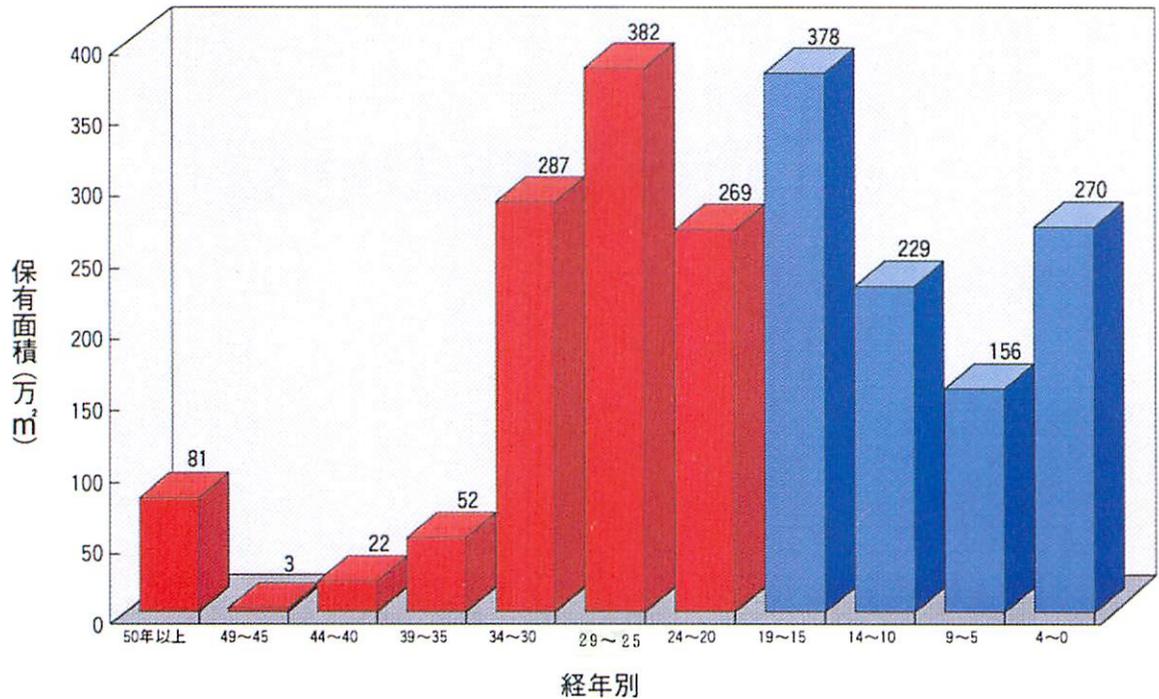
— 国立大学協会 —

平成9年4月



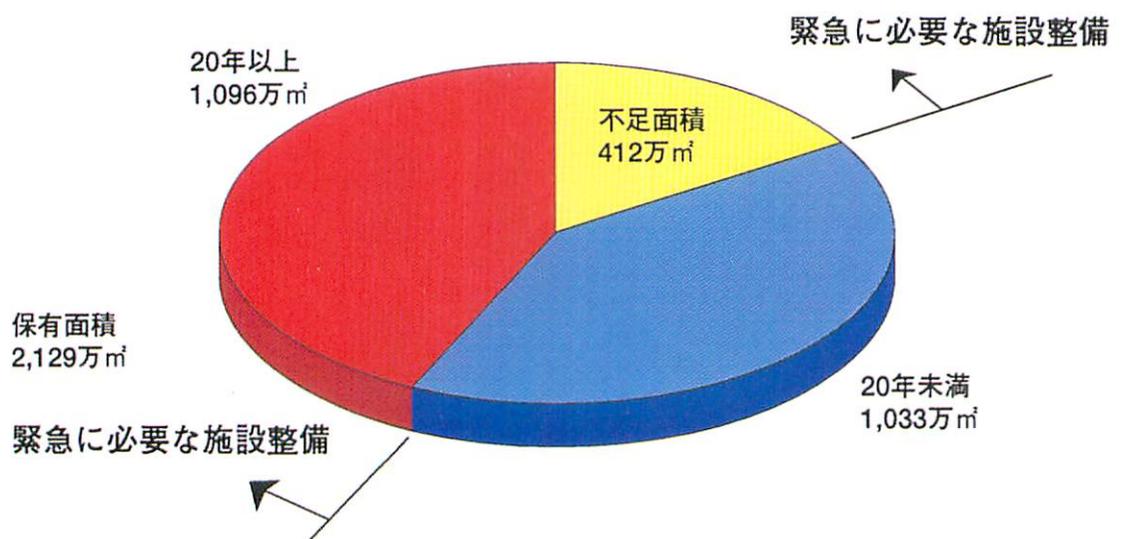
老朽化・狭隘化が著しい国立学校施設

経年別保有面積（平成8年5月1日現在）

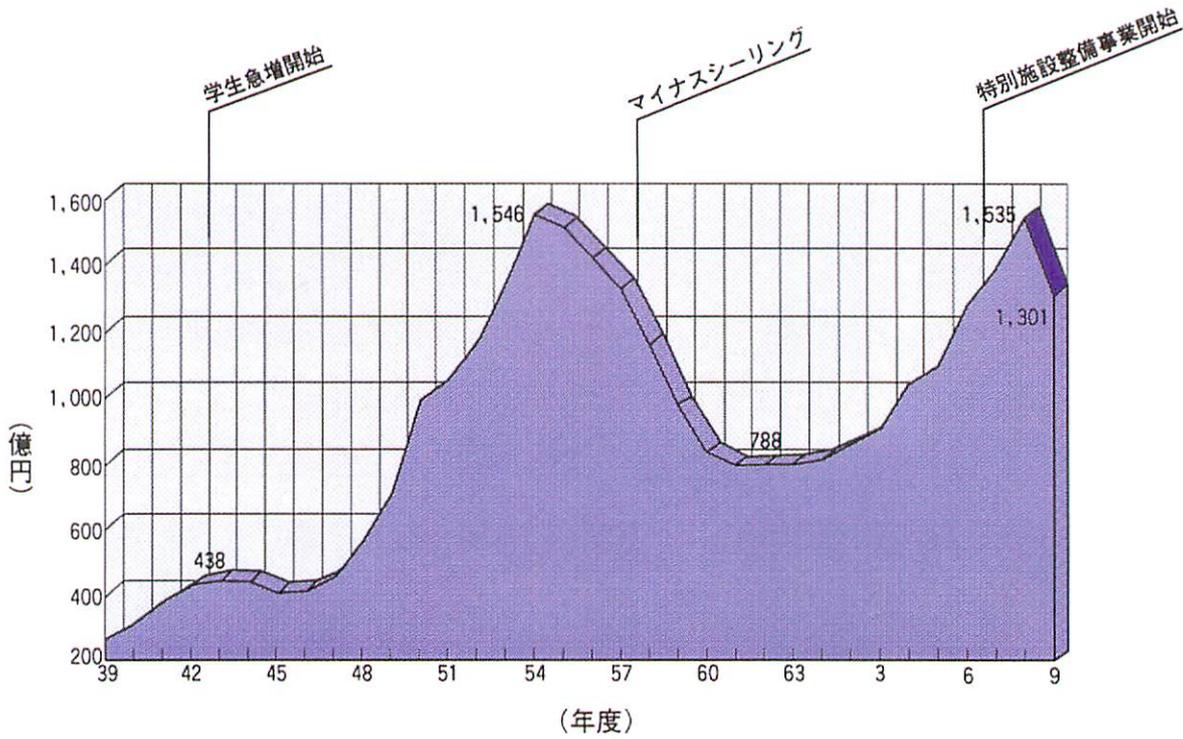


保有している建物面積 2,129万㎡
20年以上経過した建物 1,096万㎡〔51%〕

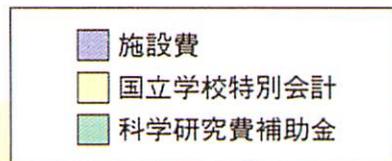
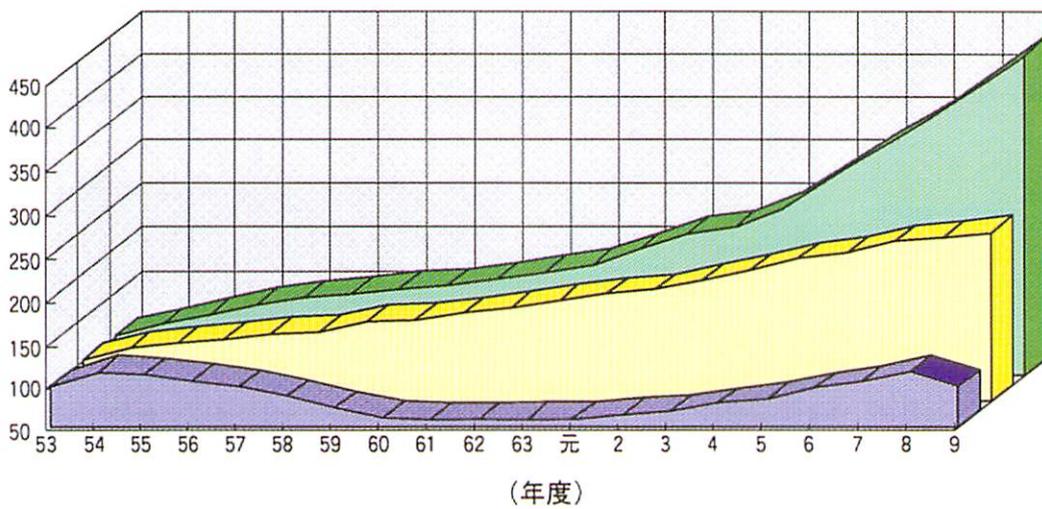
要整備等面積（平成8年5月1日現在）



施設整備費予算額の推移



施設費及び関連予算等の推移（昭和53年度=100）



老朽化が著しい実例写真



写真1：屋上防水

防水層の老朽化により、膨れ、はがれが生じ、笠木の劣化とともに漏水の原因になっている。



写真2：外壁

外壁の老朽化により表面に亀裂が入り、一部剥落している。躯体に悪影響を及ぼすとともに、危険である。



写真3：外部建具

鋼製建具の腐食が著しく、開閉が困難である。



写真4：内装（天井）

漏水のため、天井材の汚損が著しく、一部欠落しており、照明器具にも悪影響を及ぼす。



写真5：共同構内暖房管

保温材及び配管の劣化により、暖房に支障が生じるとともに、効率が悪く不経済である。



写真6：野外給水管

配管内の腐食が激しく、赤水、水圧不足等のトラブルのほか、一部破損し漏水を引き起こしている。

狭隘化が著しい実例写真



写真1：実験室

大型実験機器の増加により狭隘化しているため、装置を誤動作させることがあり、満足な実験ができない。



写真2：廊下（実験室側）

実験室内の狭隘化により、実験機器等が廊下を占有するに至っており、実験上のみならず避難上も危険である。

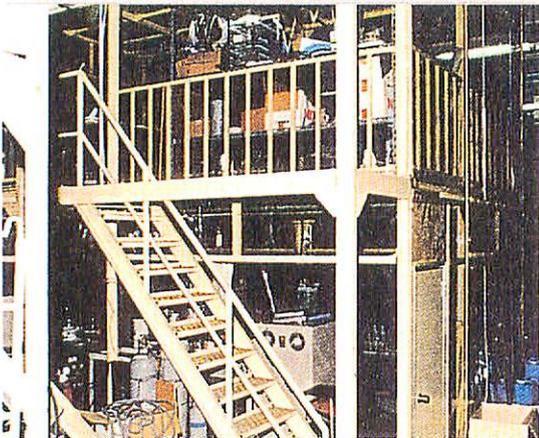


写真3：研究・実験室

教官等の増により、やむを得ず中2階を設けており、実験上、避難上も大変危険である。

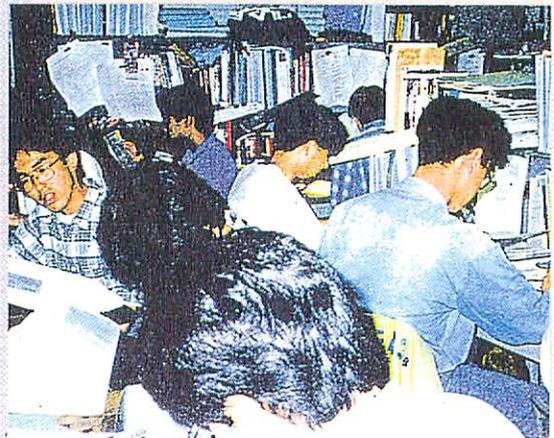


写真4：研究室

大学院生の増により、室定員を大幅に超える学生が研究を行っているため、身動きもできない状況である。



写真5：講義室

学生増により、立席しなければならない程、講義室が不足している。

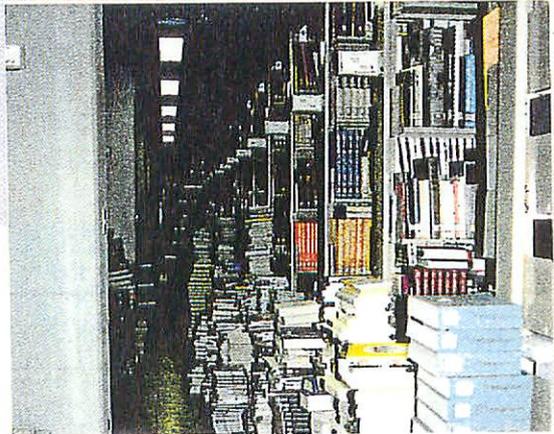


写真6：図書室

蔵書の増により、書籍が床に積み重ねられているため、検索が困難であるとともに、構造上も危険である。

21世紀にふさわしい教育研究環境の確立

- ・ 教育・研究基盤の貧困化の打破
- ・ 学術研究基盤の国際的水準確保
- ・ 情報流通体制の整備の確立

■老朽狭隘施設の 改善整備例



改善前



改善後